



FSSI
Research Report

Kanazawa University

2021. 9



科研費の採択傾向 その2

～ 職名（教授・准教授・講師・助教）で採択率は異なるのか？ ～

本年度の科学研究費助成事業の申請を無事に終え、ホッとされている方が多いかと思えます。金沢大学では毎年約 700 件が申請されています。本号では、改めて昨年度の採択傾向についての分析結果をお知らせいたします。

本学の採択率

2021 年度の基盤研究（A）、（B）、（C）、若手研究、新学術領域研究の 5 種目についての本学の科研費の応募および採択件数は、

応募数：736 件

採択数：299 件（5 種目での採択率：40.6%）

となっています。

図 1 のように種目別では、若手研究の採択率が 48.9% と最も高く、全種目において国内全体の採択率を大きく上回っています。

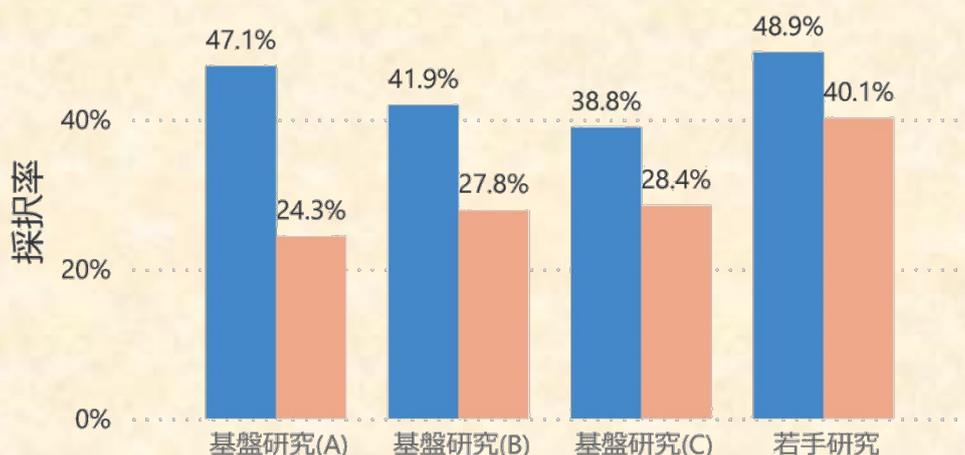
職名別の採択傾向について

以前のレポートで基盤研究（B）の採択率についての分析結果をご報告しました。その際に「職名で採択率に違いはあるのか?」、「私の職名でも採択見込みはあるのか?」とのお問合せをいただきました。この疑問の背景として、教授>准教授>講師>助教の職名順で、業績に比例して採択率も高くなるはずである、審査にも職名が影響するはずである、といった先入観に基づく考えがあります。

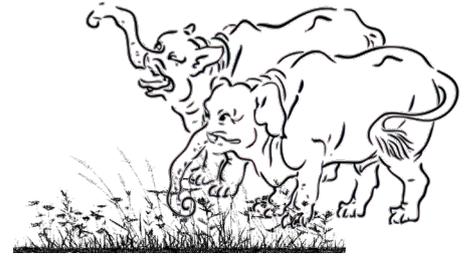
私達も、業績と経験が多い研究者のほうが採択率は高いだろうと、漠然と思っていましたが、今回改めて傾向を分析してみました。

図 1. 科学研究費助成事業の種目別の採択率（2021 年度採択者）

●金沢大学 ●日本全体



Topic



職名ごとの採択率（図2）

5つの職名（教授、准教授、講師、助教、医員）について、4つの種目ごと（基盤研究（A）、（B）、（C）、若手研究）の採択率を図2に示します。

基盤研究（A）：教授と准教授間では、採択率に差異がなく、職名は影響していないと考えられる。

基盤研究（B）：講師、助教の採択率が高い傾向にあり、職名の影響を受けていない（職名に反比例している？）と考えられる。

基盤研究（C）：教授、准教授、講師間の採択率の差異は最大で4%（教授 vs 准教授）であり、助教を境に採択率の差異は職名では大きくは影響しないと考えられる。助教、医員に関しては、職名がやや影響している可能性がある。

若手研究：職名によって大きく影響を受けている。

なお、本傾向は職名のみを指標としており、実際の応募に関しては、過去の科研費の採択履歴や、論文数、被引用件数等の他の指標も考慮すべきであることをご理解ください。基盤研究（B）における科研費の採択履歴については、[2021年5月号](#)で詳細に分析しています。

また、基盤研究（A）・助教においては採択率が100%となっています。これは図3に示すように、1件応募中1件採択となっているためです。基盤研究（B）においても応募数そのものが少ないため採択率が高くなっている場合があります。そのため、傾向に関しては、あくまでも本学の2021年度に限定された傾向であることをご了承ください。

FSSIによる申請書ブラッシュアップの効果

申請書の採択率を向上させるためには、FSSIが実施する申請書のブラッシュアップが有効です。ブラッシュアップの効果を図4に示します。

どの種別においても、非利用者と比較して、ブラッシュアップ利用者の採択率は向上しています。種目によって効果が異なるものの、5~10%程度向上しています。効果は数%と小さいかもしれませんが、基盤研究（C）における准教授と助教と採択率の差異が5%である（図2）ことを考慮すると、その効果の高さが分かるかと思います。

図2. 職名ごとの採択率（2021年度採択）

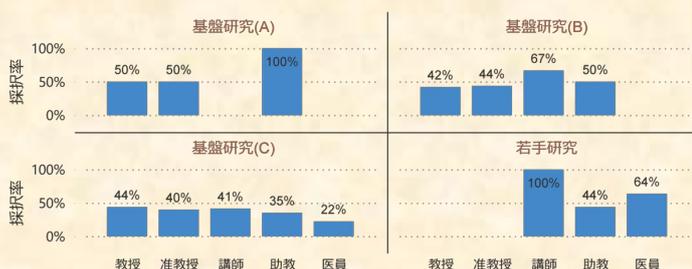


図3. 職名ごとの採択数（2021年度採択）





編集者コメント

科学研究費助成事業や外部研究事業等についての情報を分析し、研究者の皆様に広く発信するために、「FSSI Research Report」を毎月発行しています。レポートに記載の分析結果詳細やアーカイブを[ホームページ](#)に掲載していますので、ぜひご覧ください。

ご紹介した「科研費の採択傾向 その2」につきましては、職名のみでの分析ですが、基盤研究(B)等の上位種目への挑戦のための参考にしていただければと思います。(池田)

リンク一覧

研究支援全般に関する情報

<https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

レポートのアーカイブ

<https://kanazawa-fssi.com/fssi-report/>

FSSIによる研究支援

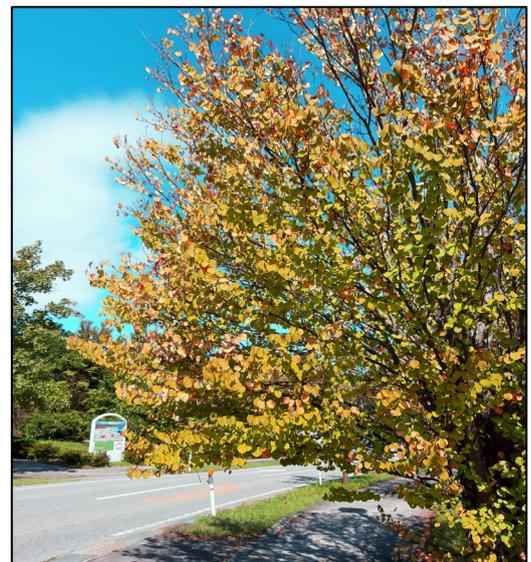
<https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/researcher/support/>

【お問い合わせ】



金沢大学先端科学・社会共創推進機構 (FSSI)

✉ : kanazawa-fssi-ir@kanazawa-fssi.com



2021年9月29日 紅葉が始まりカラメルの香りが漂うカツラ並木

図4. FSSIによる申請書ブラッシュアップ支援の効果

●申請書ブラッシュアップ利用者 ●非利用者

